

水道事業・下水道事業マスタープラン（2011～2021）

# 第 3 期 実 行 計 画

平成 30 年度（2018 年度）～ 平成 33 年度（2021 年度）

平成 30 年（2018 年）2 月

横須賀市上下水道局

# 目 次

## 第1章 実行計画策定の基本方針

1 実行計画策定の目的	2
2 実行計画の位置付け	2
3 実行計画の期間	3
4 実行計画の対象とする事業	3
5 実行計画の構成	3
6 実行計画の進行管理	3

## 第2章 管理目標

1 管理目標	6
--------	---

## 第3章 政策・施策体系別計画

1 マスタープランにおける政策・施策の展開	10
2 政策・施策体系別計画	11

## 第4章 財政収支見通し

1 水道事業	40
2 下水道事業	42

## 索引

課別事業索引	46
--------	----

今後、元号の変更が予定されていますが、本計画の策定時点では新元号が決まっていないため、和暦で表記する箇所については、「平成」と表記しています。

# 第1章

## 実行計画策定の基本方針

## 1 実行計画策定の目的

この実行計画は、「水道事業・下水道事業マスタープラン（2011～2021）（以下「マスタープラン」という。）」に掲げるさまざまな施策を、マスタープラン計画期間の第3期の4年間に着実に実施していくために策定するものです。

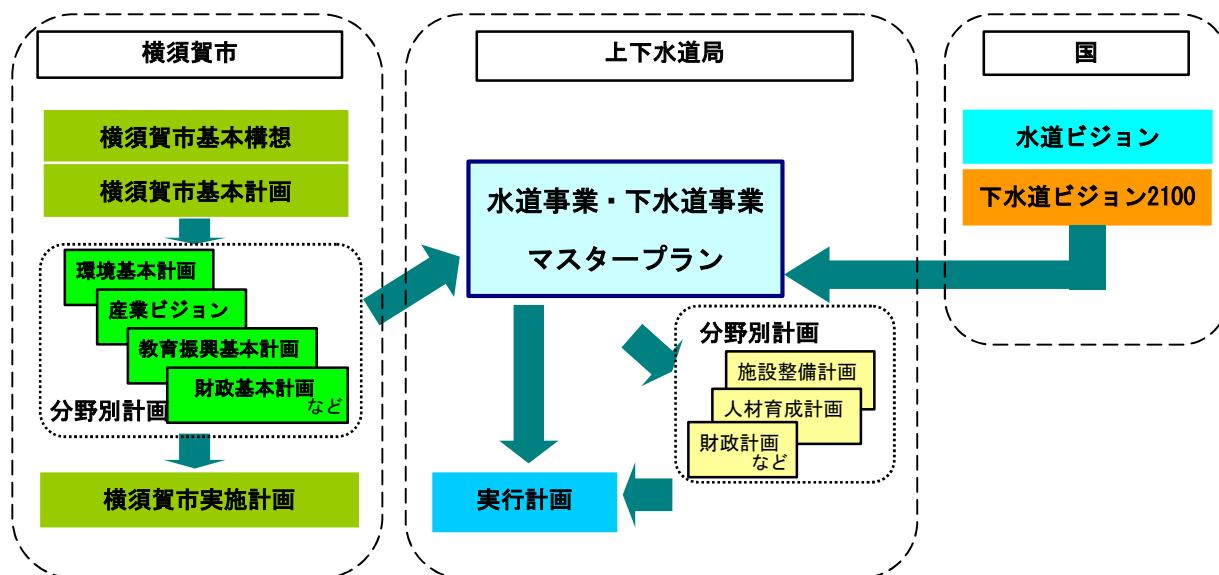
## 2 実行計画の位置付け

実行計画は、マスタープランの構成の上からは、次の図のとおり位置付けています。

また、この実行計画は、マスタープランと合わせて総務省が公営企業に策定を求めている「経営戦略」※として位置付けます。

マスタープランは、本市の基本構想及び基本計画に基づき策定する分野別計画の一つとして、水道事業及び下水道事業の方向性を示す役割を担っています。また、国の水道ビジョン、下水道ビジョン2100と整合を図っています。

そして、マスタープランに従って策定する実行計画は、本市の実施計画と整合性を図る役割を担っています。



※「経営戦略」

経営戦略とは、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画です。平成26年（2014年）8月29日総務省の通知により、「経営環境が厳しさを増す中であっても、事業、サービスの提供を安定的に継続できるよう、中長期的な視点に立った経営を行い、徹底した効率化、経営健全化に取り組むことが必要である」ため、各公営企業において策定が求められています。

### 3 実行計画の期間

計画期間は、平成30年度（2018年度）から平成33年度（2021年度）までの4年間です。

平成9年(1997年)

平成37年(2025年)



### 4 実行計画の対象とする事業

この実行計画は、マスタープランに掲げる施策のうち、今後4年間（平成30年度～平成33年度）の計画期間中に、上下水道局が実行する主要な事業を対象とします。

### 5 実行計画の構成

第2章では、マスタープランの達成状況を分かりやすく示すために設定した「管理目標」を掲載します。

第3章では、マスタープランに掲げる政策・施策体系に基づき事業を示した「政策・施策体系別計画」を掲載します。

第4章では、実行計画期間中における収支の見通しを示した「財政収支見通し」を掲載します。

### 6 実行計画の進行管理

毎年度、各事業の実施状況及び計画期間中の目標達成状況を把握し、進行管理を行います。



# 第2章

## 管理目標

# 1 管理目標

マスタープランの達成状況を分かりやすく示すため、「管理目標」を設定しました。  
この管理目標でマスタープランを進行管理し、次期のマスタープラン及び実行計画の策定に反映していきます。

政策	内容	平成 28 年度 (2016 年度) 実績値	平成 33 年度 (2021 年度) 目標値
【政策 1】 安全で安定した水道水の供給	水道事業 <b>(1) 良質な水道水の供給（浄水課）</b> 給水栓での水質基準値に対する適合割合 100%を維持することで、良質な水道水を供給します。 【(水質基準適合回数/全検査回数) × 100】	100%	100% (単年度目標)
	水道事業 <b>(2) 鉛給水管の減少（給排水課、水道管路課）</b> 漏水防止及び水質のさらなる向上のため、鉛給水管の取替工事を行うことで、安全で安定した水道水の供給を継続します。 【(鉛給水管使用件数/給水管取出件数) × 100】※	26.3%	19.3%
	水道事業 <b>(3) 大規模漏水事故の防止（水道管路課、水道施設課）</b> 適切な維持管理により断水戸数が 200 戸以上となる大規模漏水事故を防止します。 【大規模漏水事故件数】	0 件	0 件 (4 年間合計)
【政策 2】 きれいな川や海の創出と快適な生活環境の提供	下水道事業 <b>(4) 水洗化率の向上（給排水課）</b> 処理区域内の水洗化率を高めることで、「公衆衛生の向上」や「公共用水域の水質向上」を目指します。 【(水洗化人口/処理人口) × 100】	96.1%	96.5%
	下水道事業 <b>(5) 排水基準に適合した放流水質の維持（水再生課）</b> 放流水の排水基準に対する適合割合 100%を維持することで、公共用水域の水質保全に努めます。 【(排出基準適合回数/放流水の中試験実施回数) × 100】	100%	100% (単年度目標)
	下水道事業 <b>(6) 下水道管の不具合に起因する下水道排水停止の防止（下水道管渠課）</b> 適切な維持管理により下水道管の不具合に起因する下水道排水停止を防止します。 【下水道管の不具合に起因する下水道排水停止件数】	0 件	0 件 (4 年間合計)
	下水道事業 <b>(7) ポンプ場・処理場施設の改築・更新（下水道施設課）</b> ポンプ場・処理場の機能を維持するため、経年化した施設・設備の改築・更新を行い、長寿命化及び機能向上を図ります。 【4 年間の改築・更新件数】	95 件 (3 年間合計)	290 件 (4 年間合計)



政 策	内 容		平成 28 年度 (2016 年度) 実績値	平成 33 年度 (2021 年度) 目標値
【政策 3】 地球環境への配慮	水道事業	<b>(8) 省エネ機器導入に伴う電力使用量(CO<sub>2</sub>)の削減(浄水課)</b>  電力使用量を削減するため、諸設備を更新する際に省エネルギー機器を導入することで、温室効果ガスの削減を図ります。  <b>【更新対象機器の年間電力使用量】</b>	591 千 kWh	498 千 kWh
	下水道事業	<b>(9) 省エネ機器導入に伴う電力使用量(CO<sub>2</sub>)の削減(下水道施設課)</b>  電力使用量を削減するため、諸設備を更新する際に省エネルギー機器を導入することで、温室効果ガスの削減を図ります。  <b>【更新対象機器の年間電力使用量】</b>	9,253 千 kWh	9,245 千 kWh
【政策 4】 危機管理 対策の強化	水道事業	<b>(10) 水道管の耐震化の推進(水道管路課、水道施設課)</b>  経年化した水道管を耐震性能を備えた管に更新することで、安定給水を図ります。  <b>【(耐震化延長/管路総延長)×100】</b>	29.9%	35.0%
	下水道事業	<b>(11) 下水道管の耐震化の推進(下水道管渠課)</b>  下水道管とマンホールとの接続部や下水道管本体を耐震化することで、災害時の下水処理機能を維持します。  <b>【(耐震化延長/管渠総延長)×100】</b>	2.6%	3.7%
【政策 5】 お客さまとの信頼関係の強化	共通	<b>(12) 水道・下水道のイメージの向上(総務課)</b>  水道・下水道に良いイメージを感じていただいているお客さまの割合を 80%以上にします。  <b>【アンケートを実施して、「良い」と答えた割合】</b>	水道事業 82.3% 下水道事業 78.0%	各事業 80%以上 (4か年達成率 平均)
【政策 6】 経営基盤の強化	共通	<b>(13) 企業債残高の削減(経理課)</b>  計画期間内の収支見通しを見ながら、将来のお客さまの負担(料金)で返済する企業債残高を減少させることで、財政の健全化を図ります。  <b>【企業債残高】</b>	水道事業 192 億円 下水道事業 874 億円	水道事業 191 億円未満 下水道事業 760 億円未満
	共通	<b>(14) 人材育成のための技術継承研修時間の確保(総務課)</b>  水道事業・下水道事業に必要な人材を育成するために研修を実施することで、技術継承を推進します。  <b>【局主催研修累計時間/職員数】</b>	3.8 時間	6 時間 (単年度目標)

※ 管理目標(2)「鉛給水管の減少」の目標値の計算式の分母について、第2期実行計画は「給水栓数」にしていますが、第3期実行計画から「給水管取出件数」に改めています。平成28年度(2016年度)実績値は新しい計算式で再計算し、表記しています。



# **第3章**

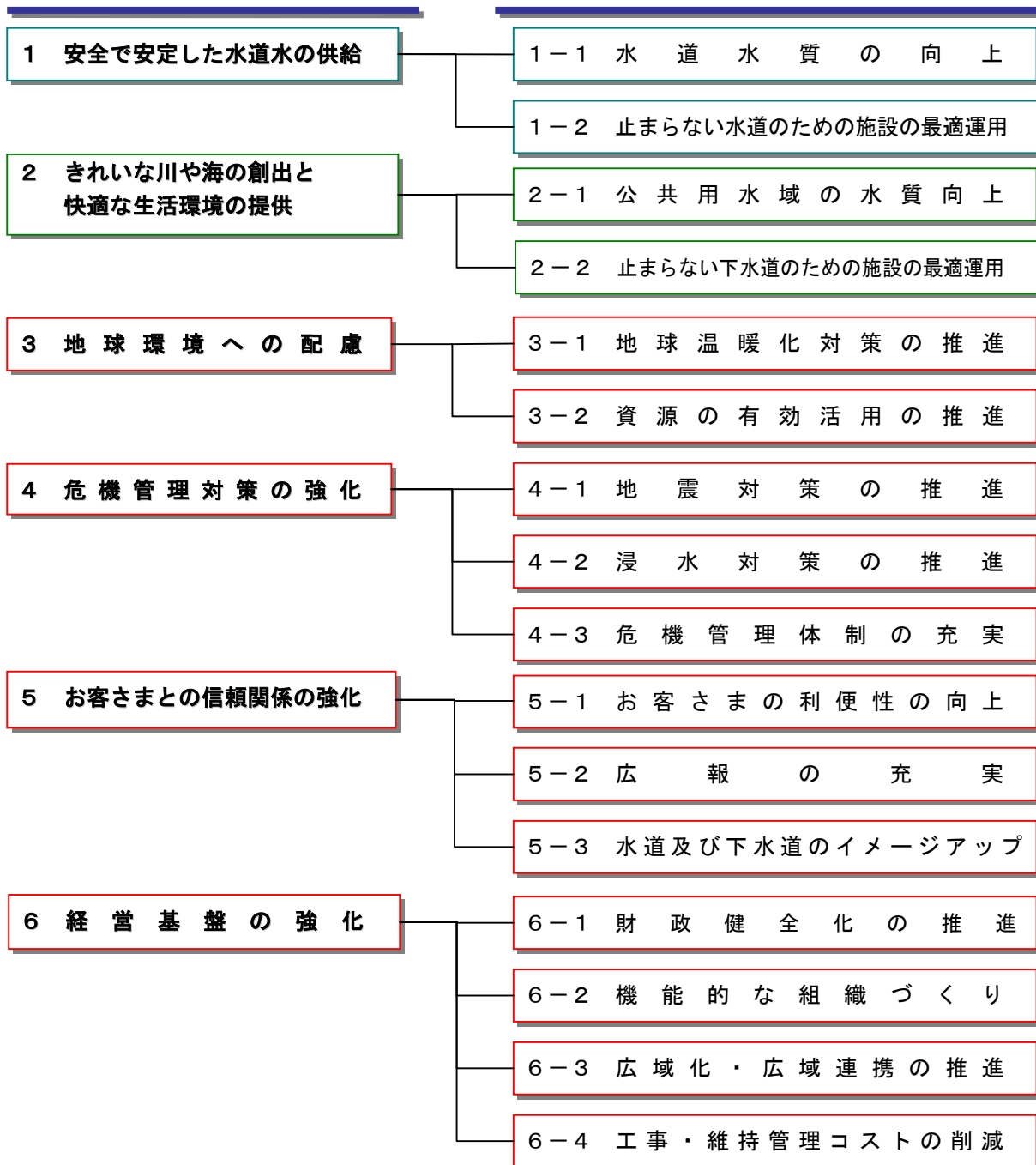
## **政策・施策体系別計画**

# 1 マスタープランにおける政策・施策の展開

次の6つの政策とそれに関連する16の施策により、経営目標である「いつでも安心して使える止まらない水道・下水道」の達成に取り組んでいきます。

## 政策

## 施策



### 「政策・施策体系別計画」に掲載されている事業の見方

#### 1 事業名

- ・事業名は、主要事業の名称です。
- ・課名は、事業を実施する課名で、平成30年度（2018年度）の組織名を記載しています。  
事業を実施する課が複数ある場合は、機構順に記載しています。
- ・（新）の表示は、計画期間中に新たに取り組む事業、（拡）の表示は、既存の事業の内容を拡充して取り組む事業です。

#### 2 事業内容

- ・事業を実施する期間の事業内容です。

#### 3 事業年度

- ・色のついている年度は、事業を実施する年度です。

#### 4 事業目標

- ・4年間（平成30～33年度（2018～2021年度））の事業目標です。

#### 5 事業費

- ・4年間（平成30～33年度（2018～2021年度））の事業費の合計です。  
なお、▲は収入額を表しています。

（例）

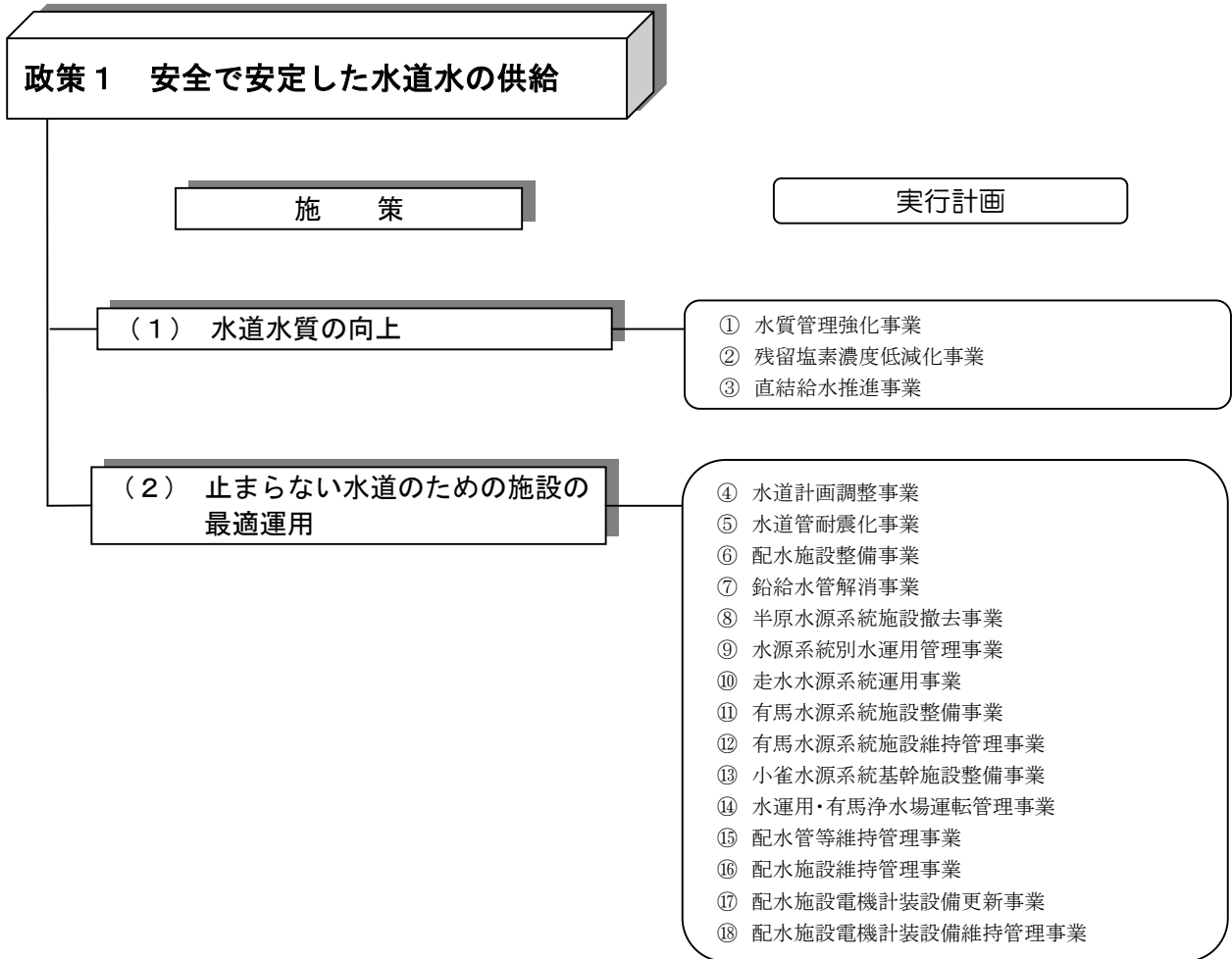
（単位 千円）

事業名		事業内容				事業目標	事業費
1	水質管理強化事業 （浄水課）	水道水の水質を担保するため、水質検査の標準化、管末水質の常時監視、水質汚染事故時の迅速な対応体制の整備等を実施します。				* 水質基準適合率 100%	188,260
施策	1-（1）	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)	

## 1 安全で安定した水道水の供給

水道事業の「安全な水道水の供給」、「安定した給水」という基本的な使命を果たすためには、施設の維持管理・更新を適切に進める必要があります。施設の維持管理・更新には、多額の費用を要することから、これを計画的に進めるとともに、社会環境の変化も踏まえた施設の機能向上や再構築を進めます。

### ◇政策・施策の体系



## ◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
1	水質管理強化事業 (浄水課)	<p>水道水の水質を担保するため、水質検査の標準化、管末水質の常時監視、水質汚染事故時の迅速な対応体制の整備等を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 水道水質検査計画及び水道GLP※の適正運用</li> <li>• 水質基準強化や検査精度維持に対応した検査体制の整備</li> <li>• 定期検査及び水質計器による原水から蛇口までの水質管理</li> <li>• 水質計器の更新</li> <li>• 水安全計画の適正運用と見直し</li> <li>• 水道水質の安全性に関する情報の提供</li> </ul> <p>※ 公益社団法人日本水道協会による水質検査の信頼性保証制度 (Good Laboratory Practice: 優良試験所規範の略)</p>					* 水質基準適合率 100%	188,260
施策	1 - (1)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
2	残留塩素濃度低減化事業 (浄水課)	<p>実施可能な給水区域から残留塩素濃度を低減化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 低減化に向けた検討の継続</li> <li>• 冬季における低減化の検討</li> </ul>					* 全市残留塩素濃度平均を前年度と同等以下	0
施策	1 - (1)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
3	直結給水推進事業 (給排水課)	<p>貯水槽を使用しているお客さまに対して指導します。 お客さまが直結化設計を適切に行うための情報を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 回転率の低い貯水槽を中心とした巡回等</li> <li>• 設計水圧調査等による直結化設計のサポート</li> </ul>					* 直結給水の推奨	0
施策	1 - (1)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

1 安全で安定した水道水の供給

◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費																				
4	水道計画調整事業 (計画課)	水道施設の機能向上を図るための事業(地震対策、環境対策)を施設の統廃合、更新・改良事業、維持管理事業と連携させて、効率的に実施するための計画調整を行います。  ・マスタープラン及び上下水道施設整備計画を実行するための調整 ・次期マスタープランの策定に向けた検討及び調整 ・水需要予測及び事業経営基礎分析の実施					*マスタープランの策定及び上下水道施設整備計画の実行支援	9,154																				
施策	1-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)																						
(拡)	5 水道管耐震化事業 (水道管路課) (水道施設課)	安定給水を図るため、経年化した配水管を耐震性能を備えた管に更新します。  ・配水本管更新(6.3km) ・配水支管及び小管更新(57.7km) ・配水管ネットワーク機能の強化  各年度の目標更新延長 (単位: km) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>33年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本管</td> <td>1.5</td> <td>1.6</td> <td>1.6</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>支小管</td> <td>14.0</td> <td>14.4</td> <td>14.4</td> <td>14.9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15.5</td> <td>16.0</td> <td>16.0</td> <td>16.5</td> </tr> </tbody> </table>						30年度	31年度	32年度	33年度	本管	1.5	1.6	1.6	1.6	支小管	14.0	14.4	14.4	14.9	計	15.5	16.0	16.0	16.5	*水道管の耐震化率35.0%	10,303,248
	30年度	31年度	32年度	33年度																								
本管	1.5	1.6	1.6	1.6																								
支小管	14.0	14.4	14.4	14.9																								
計	15.5	16.0	16.0	16.5																								
施策	1-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)																						



## ◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容				事業目標	事業費
6	配水施設整備事業 (水道施設課)	<p>安定給水を図るため、経年化した配水施設を、計画的に更新・改良し、耐震性能の向上と長寿命化を図ります。</p> <p>併せて、災害時の応急給水拠点を整備します。</p> <p>また、漏水等緊急時のバックアップ機能強化を図るため、中央配水幹線を主要配水幹線と連絡する工事を行います。</p> <p>平成26年度(2014年度) ～平成31年度(2019年度) 久里浜配水池更新</p> <p>平成29年度(2017年度) ～平成31年度(2019年度) 野比高区配水池改良</p> <p>平成29年度(2017年度) ～平成33年度(2021年度) 中央配水幹線と主要配水幹線の連絡</p> <p>平成31年度(2019年度) ～平成33年度(2021年度) 武山高区配水池更新</p>				*各施設工事の完了	2,117,243
施策	1-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)	
7	鉛給水管解消事業 (給排水課) (水道管路課)	<p>漏水防止及び水質のさらなる向上を図り、安全で安定した水道水を供給するため、市内に残存する鉛給水管の取替工事を行います。</p> <p>また、使用者が独自に行う取替工事に対し、費用の一部を助成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉛給水管取替え</li> <li>鉛給水管布設替取替工事費等補助金</li> </ul>				*鉛給水管の取替え 年1,600件	2,157,836
施策	1-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)	

1 安全で安定した水道水の供給

◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
(新)	8 半原水源系統施設撤去事業  (用地管理課) (計画課) (水道施設課) (浄水課)	平成27年(2015年)2月に廃止した半原水源系統施設について、計画的に撤去等を行います。  <ul style="list-style-type: none"> <li>埋設管撤去</li> <li>軌道下等埋設管充填</li> <li>取水口撤去に向けた設計及び関係機関との調整</li> <li>取水口撤去</li> <li>用地の整理及び売却に向けた調整</li> </ul>					* 予定工事等の完了	373,565
施策	1 - (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
	9 水源系統別水運用管理事業  (浄水課)	県内水道事業者と共同施設維持管理等を実施するとともに、有馬水源系統ほか各水源系統別の費用を考慮した水源系統別水運用を実施し、水運用コストの最小化を図ります。  <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な水源系統運用の実施</li> <li>小雀浄水場の横浜市との共同運営</li> <li>城山ダム等共同施設維持管理事業ほか、県内水道事業体共同事業の実施</li> <li>他事業体と連携体制の整備</li> </ul>					* 水運用運転管理に係る減断水発生日数 0日	2,695,523
施策	1 - (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
	10 走水水源系統運用事業  (浄水課)	走水水源地の浄水処理設備の運用の継続と維持管理を行います。  <ul style="list-style-type: none"> <li>走水水源地の膜処理設備等の運用と維持管理</li> </ul>					* 走水水源地の浄水処理設備の障害による断水日数 0日	7,448
施策	1 - (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

## ◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
11	有馬水源系統施設整備事業 (浄水課)	有馬水源系統の施設・設備について、計画的に更新・改良を行います。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・監視制御設備更新</li> <li>・ポンプ設備更新</li> <li>・薬品注入設備更新</li> <li>・排水処理施設改良</li> </ul>					*有馬浄水場の施設・設備の不具合に起因する浄水処理停止日数 〇日	1,041,650
施策	1 - (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
12	有馬水源系統施設維持管理事業 (浄水課)	有馬水源系統の施設・設備について、維持管理を行います。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄水設備修繕</li> <li>・計装設備修繕</li> <li>・建屋外壁等修繕</li> <li>・浄水処理材交換</li> <li>・外灯修繕</li> </ul>					*有馬浄水場の施設・設備の不具合に起因する浄水処理停止日数 〇日	614,769
施策	1 - (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
13	小雀水源系統基幹施設整備事業 (浄水課)	横須賀市及び横浜市の共同施設である小雀水源系統の基幹施設の整備を行います。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・配水池等耐震補強</li> <li>・薬品注入設備更新</li> <li>・電気設備更新</li> <li>・沈殿池設備更新</li> </ul>					*小雀水源系統断水事故日数 〇日	1,473,179
施策	1 - (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

1 安全で安定した水道水の供給

◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
14	水運用・有馬浄水場 運転管理事業  (浄水課)	上下水道局職員と運転管理業務受託者の技術向上を図り、水運用及び浄水場運転管理業務を安定的に実施します。  ・水運用及び浄水場運転管理 ・受託者の技術向上のための指導 ・水運用及び浄水処理技術の向上と継承のための職員向け研修 ・上下水道局運転管理業務委託評価委員会による検証評価 ・次期受託事業者選定のためのプロポーザル実施					* 運転管理に係る減断水発生日数 0日	699,328
施策	1 - (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
15	配水管等維持管理 事業  (水道管路課) (水道施設課)	配水管等の経年劣化や破損による漏水事故の発生を防止するため、漏水調査、漏水修理及び計画的な施設の予防保全管理を実施します。  ・計画的な配水管漏水調査 ・配水管修繕及び給水装置修繕等による漏水修理 ・配水本管付属設備点検調査、他企業工事立会による施設修繕及び減圧弁更新等による水道施設の保全 ・揚水管の調査					* 大規模漏水事故（断水戸数200戸以上） 件数 0件	1,660,029
施策	1 - (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

## ◇実行計画事業

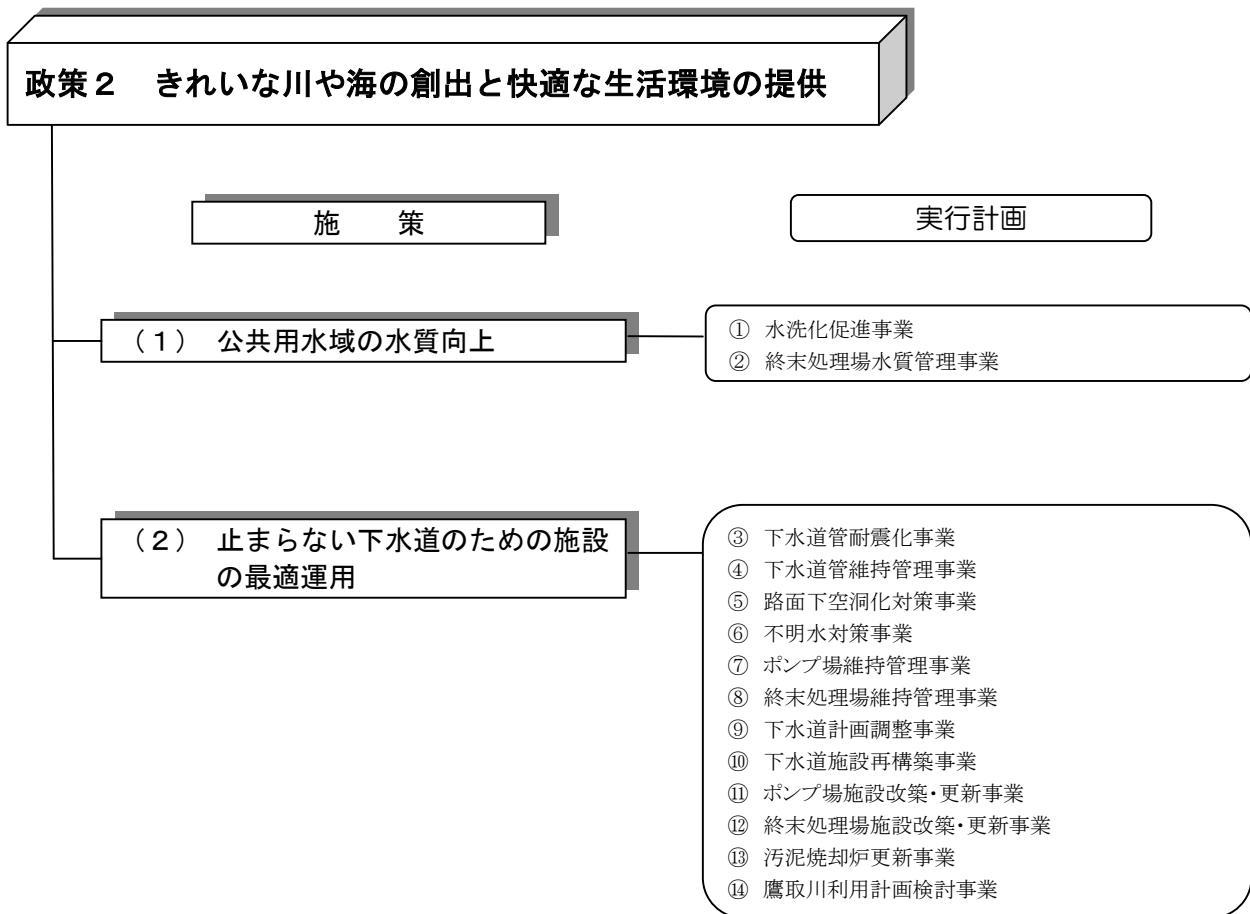
(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
16	配水施設維持管理 事業  (水道施設課)	<p>配水施設について、中長期的な視点に立ち、定期的に調査等を実施し、計画的に修繕を行うことにより、施設の長寿命化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配水池等修繕</li> <li>・外構施設修繕</li> <li>・大規模施設詳細診断</li> <li>・配水池内清掃</li> </ul>					* 施設の劣化 度に 応じた 修繕の 実施	180,399
施策	1 - (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
17	配水施設電機計装 設備更新事業  (浄水課)	<p>将来にわたって良質な水を効率よく供給するため、配水池等の経年化した電機計装設備の更新・改良を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレメータ設備更新</li> <li>・水運用システム更新</li> <li>・高圧電気設備更新</li> <li>・無停電電源設備更新</li> <li>・ポンプ設備及びポンプ制御盤更新</li> <li>・流量計及び水位計更新</li> </ul>					* 電機計装 設備の 故障に 起因す る断水 日数 ○日	922,946
施策	1 - (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
18	配水施設電機計装 設備維持管理事業  (浄水課)	<p>電機計装設備について、定期的な点検業務と修繕を実施し、施設を健全な状態に保つことにより、水運用の安定化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電動弁修繕</li> <li>・ポンプ設備修繕</li> <li>・電機計装設備点検</li> <li>・外灯修繕</li> </ul>					* 電機計装 設備の 故障に 起因す る断水 日数 ○日	357,371
施策	1 - (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

## 2 きれいな川や海の創出と快適な生活環境の提供

環境に対する社会的な要請の高まりとともに、下水道事業が果たすべき役割はこれまで以上に重要で  
す。「公衆衛生の向上」や「公共用水域の水質向上」などに取組みます。

### ◇施策の体系



◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容				事業目標	事業費											
1	水洗化促進事業 (給排水課)	下水道未接続家屋への訪問及び文書督励の実施や各種補助金を交付することで水洗化を促進します。  ・戸別訪問督励 ・水洗化工事資金融資あっせん ・共同私設下水道工事費補助 ・低宅地ポンプ設置費補助				* 水洗化率 96.5%	68,581											
施策	2-(1)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)												
2	終末処理場水質管理 事業 (水再生課)	処理場の水質管理を適切に行い、法令に定められた排水基準を遵守した放流水を公共用水域へ排出します。  ・排水基準値を遵守するための適正な水質管理 ・法令で定められた水質検査の実施 ・包括的民間委託に係る処理場放流水質の監視				* 排水基準値 適合率 100%	130,685											
施策	2-(1)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)												
3	下水道管耐震化事業 (下水道管渠課)	災害時の下水処理機能を維持するため、災害時緊急輸送路などの優先度の高い路線について、マンホールと下水道管の継手部及び下水道管本体の耐震化を実施します。  ・耐震化実施設計 ・耐震化工事 ・詳細調査 ・本管改築工事  各年度の目標耐震化延長 (単位：km)				* 下水道管の 耐震化率 3.7%	1,542,760											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>33年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震化工事・ 本管改築工事</td> <td>2.4</td> <td>0.5</td> <td>2.3</td> <td>4.9</td> </tr> </tbody> </table>					30年度	31年度	32年度	33年度	耐震化工事・ 本管改築工事	2.4	0.5	2.3	4.9		
	30年度	31年度	32年度	33年度														
耐震化工事・ 本管改築工事	2.4	0.5	2.3	4.9														
施策	2-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)												

2 きれいな川や海の創出と快適な生活環境の提供

◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費	
4	下水道管維持管理 事業  (下水道管渠課)	下水道管の機能を維持するため、不良箇所 の修繕工事や雨水ます等の清掃など、定期 的な維持管理を実施します。  ・下水道管修繕 ・雨水ます等清掃 ・他企業工事立会 ・他工事調整工事 ・修繕用資機材等管理 ・大矢部水管橋の調査及び補修					* 下水道管の 不具合に 起因する 下水道排水 停止件数 〇件	1,679,641	
施策	2-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)			
(新)	5	路面下空洞化対策 事業  (下水道管渠課)	経年化の進んだ下水道施設破損に起因す る道路陥没を防止するため、路面下空洞化 調査を行います。 また、その調査結果に基づき、空洞箇所 の復旧工事を行います。  ・路面下空洞化調査 ・空洞化調査に伴う復旧工事					* 調査完了区 域内におけ る下水道施 設起因の 道路陥没 事故件数 〇件	109,952
施策	2-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)			
6	不明水対策事業  (下水道管渠課)	雨天時における污水管への浸入不明水を 防止し、污水溢水のリスク及びポンプ場や 処理場の維持管理費を低減させるため、不 明水対策を実施します。  ・不明水対策事業検討 ・不明水の原因特定のための絞込み調査 ・誤接続家屋の調査 ・公共下水道施設の補修					* 降雨時の 污水管への 雨水流入箇 所の絞込み 及び特定 7流域	16,376	
施策	2-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)			



## ◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
7	ポンプ場維持管理 事業  (水再生課)	<p>下町処理区ポンプ場の運転管理・維持管理を行います。</p> <p>包括的民間委託を導入している上町・追浜・西各処理区のポンプ場について、運転管理・維持管理が適切に行われているかを監視、評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ場の運転管理及び維持管理を効率的に実施</li> <li>・ポンプ場からの臭気を防止</li> <li>・施設修繕を計画的に実施</li> </ul>					* 運転管理・維持管理が良好なポンプ場 100%	2,496,989
施策	2-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
8	終末処理場維持管理 事業  (水再生課)	<p>下町浄化センターの運転管理・維持管理を行います。また、省エネルギー化やダイオキシン類等の発生抑制に取り組みます。</p> <p>包括的民間委託を導入している上町・追浜・西浄化センターについて、運転管理・維持管理が適切に行われているかを監視、評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理場の運転管理及び維持管理を効率的に実施</li> <li>・処理場からの臭気を防止</li> <li>・施設修繕を計画的に実施</li> </ul>					* 運転管理・維持管理が良好な処理場 100%	9,349,216
施策	2-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

2 きれいな川や海の創出と快適な生活環境の提供

◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
9	下水道計画調整事業 (計画課)	<p>下水道施設の機能向上を図るための事業（高度処理※、地震対策、浸水対策、環境対策）を施設の統廃合、改築・更新事業、維持管理事業と連携させて、効率的に実施するための計画調整を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスタープラン及び上下水道施設整備計画を実行するための調整</li> <li>・次期マスタープランの策定に向けた検討及び調整</li> <li>・水需要予測及び事業経営基礎分析の実施</li> </ul> <p>※ 現在多くの処理場で行っている処理方法（標準活性汚泥法）より多く窒素やリンを取り除くための処理方法</p>					* マスタープランの策定及び上下水道施設整備計画の実行支援	267,186
施策	2-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
10	下水道施設再構築事業 (下水道管渠課) (下水道施設課)	<p>下水道施設の規模を適正化するため、経年化した上町浄化センターを廃止し、ポンプ場とするとともに、汚水を下町浄化センターで処理するための汚水送水管及び汚泥圧送管並びに下町浄化センターの高度処理施設を整備します。</p> <p>平成26年度（2014年度） ～平成32年度（2020年度） 上町・下町バイパス管築造</p> <p>平成26年度（2014年度） ～平成33年度（2021年度） 上町浄化センターポンプ場化</p> <p>平成28年度（2016年度） ～平成31年度（2019年度） 下町浄化センター第4系列3池目 高度処理施設整備</p> <p>平成32年度（2020年度）末 下町浄化センター第1系列廃止 上町浄化センター廃止</p>					* 平成33年度 供用開始	4,983,700
施策	2-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

## ◇実行計画事業

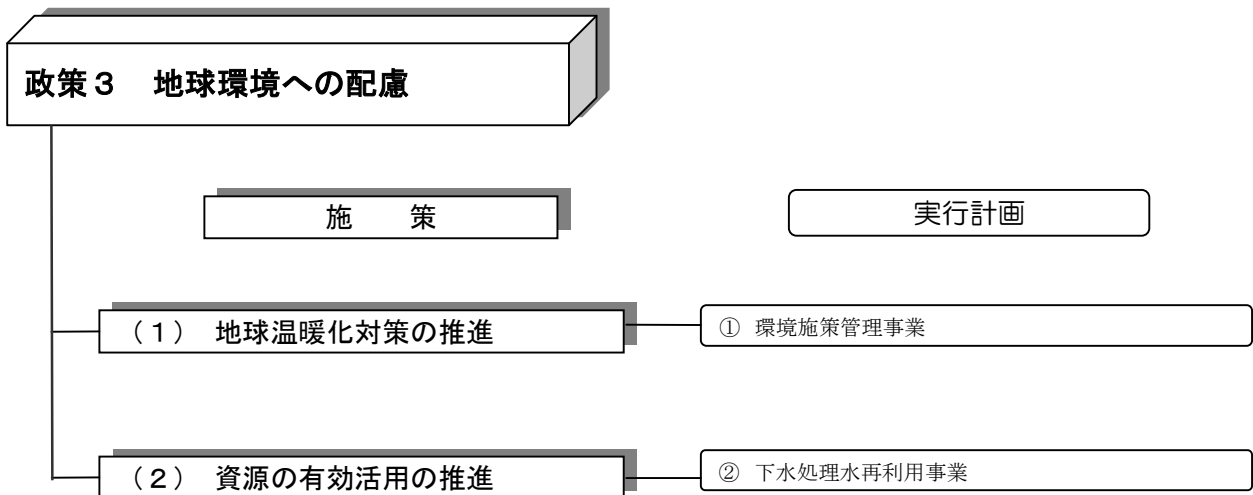
(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
11	ポンプ場施設 改築・更新事業  (下水道施設課)	ポンプ場の機能を維持するため、経年化した施設・設備の改築・更新を行い、長寿命化及び機能向上を図ります。  ・ポンプ場施設及び設備の改築・更新					* ポンプ場施設・設備の改築・更新件数 171件	3,240,600
施策	2-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
12	終末処理場施設 改築・更新事業  (下水道施設課)	処理場の機能を維持するため、経年化した施設・設備の改築・更新を行い、長寿命化及び機能向上を図ります。  ・処理場施設及び設備の改築・更新					* 処理場施設・設備の改築・更新件数 119件	2,825,200
施策	2-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
13	汚泥焼却炉更新事業  (下水道施設課)	処理場の機能を維持するため、経年化した下町浄化センター汚泥焼却炉の更新を行います。  平成30年度(2018年度) ～平成34年度(2022年度) 焼却炉更新  平成33年度(2021年度) 1基目供用開始  平成35年度(2023年度) 2基目供用開始					* 工事進捗率 80%	6,314,000
施策	2-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
(新) 14	鷹取川利用計画検討 事業  (用地管理課)	追浜公園改修等に併せて集客効果を促進するため、追浜商店街裏側を流れる鷹取川の整備方法及びその後の土地利用方法を検討します。  ・利用計画案の検討					* 整備方法及び利用計画案の検討	27,487
施策	2-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

### 3 地球環境への配慮

環境に対する社会的な要請の高まりとともに、水道事業及び下水道事業が果たすべき役割はこれまで以上に重要になると考えます。水道事業及び下水道事業は、事業活動において使用するエネルギー量も多いことから、地球温暖化対策、資源の有効活用にも引き続き取り組めます。

#### ◇施策の体系



## ◇実行計画事業

(単位 千円)

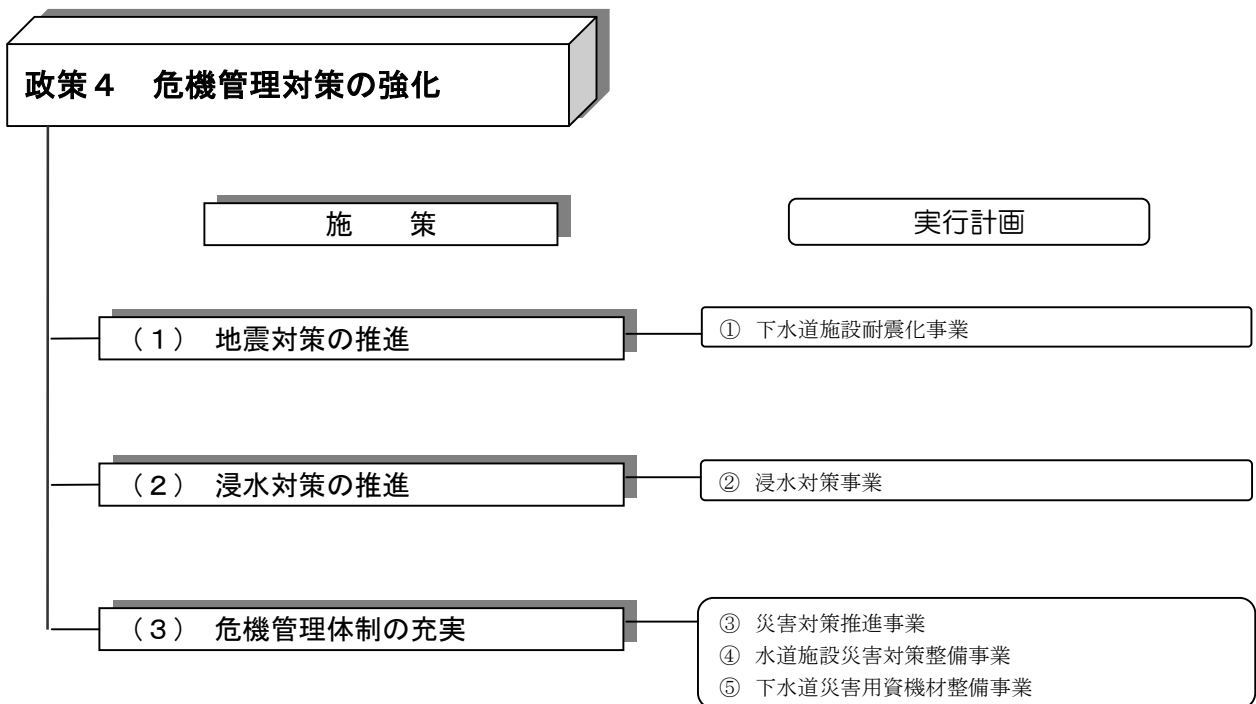
事業名		事業内容					事業目標	事業費
1	環境施策管理事業 (計画課)	水道・下水道各施設における省エネルギーの推進、新エネルギーの導入、資源の有効利用を図り、循環型社会形成に貢献し地球温暖化対策を推進します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギーの推進</li> <li>・新エネルギーの導入検討</li> <li>・資源の有効利用の推進</li> <li>・横須賀市環境マネジメントシステム（Y E S）、省エネ法、温対法、県条例等に基づく各種報告書の取りまとめ</li> </ul>					*上下水道局内における省エネルギー対策等の取り組みの検討及び推進	0
施策	3- (1)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
2	下水処理水再利用事業 (水再生課)	追浜浄化センターの下水処理水を、隣接する事業者の冷却塔の冷却用水として提供します。					*下水処理水の再利用日数 100%	1,728
施策	3- (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

## 4 危機管理対策の強化

本市の地理的・地形的特性を踏まえ、浸水対策及び施設の耐震化による自然災害への予防的措置を進めます。さらに、自然災害も含めたさまざまな危機に対応できるようにするため、危機発生時の早期復旧体制の整備を進めます。

施設整備には多額の費用を要することから、施設の更新に併せて計画的に実施するなどをして、効率的に進めます。

### ◇施策の体系



## ◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
1	下水道施設耐震化事業 (下水道施設課)	災害時の下水処理機能を維持するため、優先度の高い下水道施設の耐震化を進めます。  ・耐震診断 ・耐震補強設計 ・耐震補強					*施設の耐震化率 90.9%	561,900
施策	4- (1)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
2	浸水対策事業 (下水道管渠課)	地球温暖化や都市化の進展等による雨水排除量の増加に対応し、浸水被害の低減を図るため、雨水排水施設を整備します。					*毎年度予定 工事完了	175,600
施策	4- (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
3	災害対策推進事業 (計画課)	災害時に対応できるように、防災訓練を通じて組織力強化を図ります。 また、確実な応急給水や復旧活動ができるように体制や資機材を整備します。  ・防災訓練実施 ・災害二輪調査隊の運営 ・応急給水拠点の拡充 ・応急給水用資機材購入 ・運搬給水用資機材購入					*災害時の自己の任務を理解している職員の割合 90%	20,032
施策	4- (3)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

4 危機管理対策の強化

◇実行計画事業

(単位 千円)

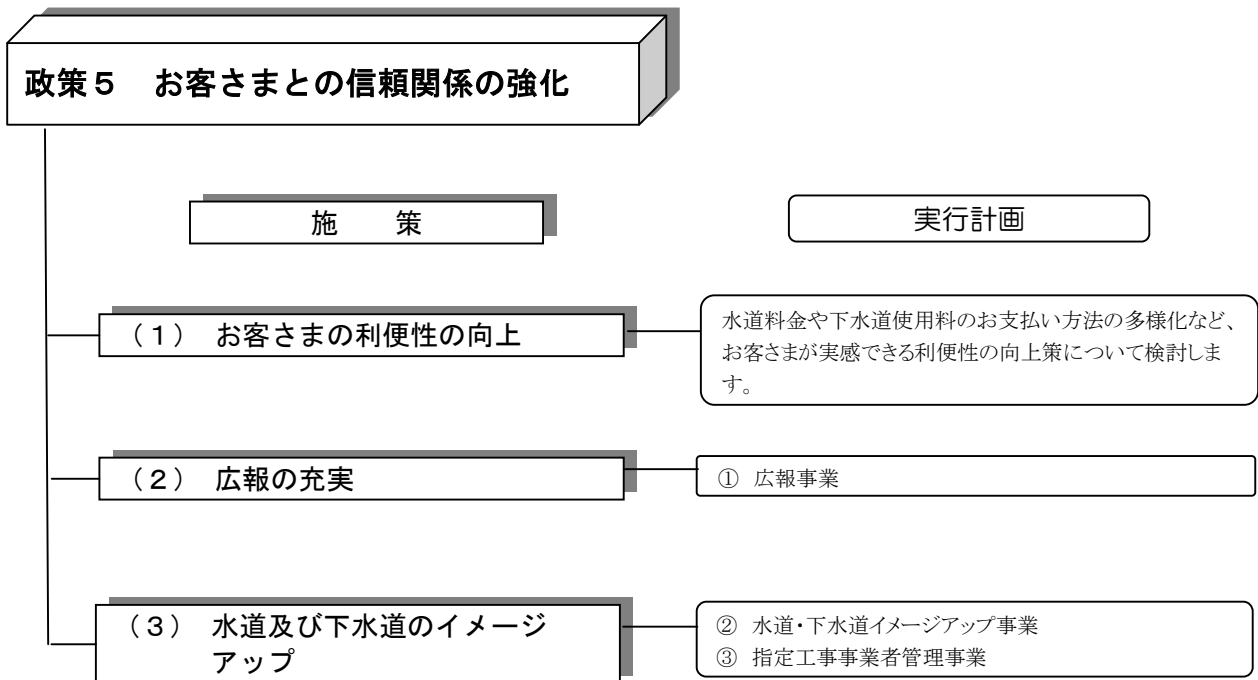
事業名		事業内容					事業目標	事業費
4	水道施設災害対策整備事業 (浄水課)	災害時の確実な応急給水を行うため、災害対策施設の適正な更新・整備を実施します。  ・緊急遮断弁設備更新及び整備 ・発電機更新 ・逸見総合管理センター発電機系統受配電設備更新					* 災害対策施設工事完了 8施設	37,347
施策	4- (3)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
5	下水道災害用資機材整備事業 (下水道施設課) (水再生課)	災害時にポンプ場や処理場の揚水機能を確保するために必要な資機材を整備します。 想定される被害状況に対し、下水道BCP※に基づく対応訓練を実施します。  ・災害用資機材購入 ・下水道BCP訓練の実施  ※ 事業継続計画 (Business Continuity Plan) の略称。企業が自然災害、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇したときに、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。					* 災害対策用資機材の配備済数 / 配備計画数 100%	4,753
施策	4- (3)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		



## 5 お客様との信頼関係の強化

お客様の満足度をさらに高めるために、支払い方法の拡充などお客様の利便性向上を図ります。また、お客様の多様なニーズを踏まえた運営を進めるため、お客様への情報提供だけでなく、お客様とのコミュニケーションを充実させ、お客様の事業に対する理解と信頼を得ていきます。

### ◇施策の体系



5 お客さまとの信頼関係の強化

◇実行計画事業

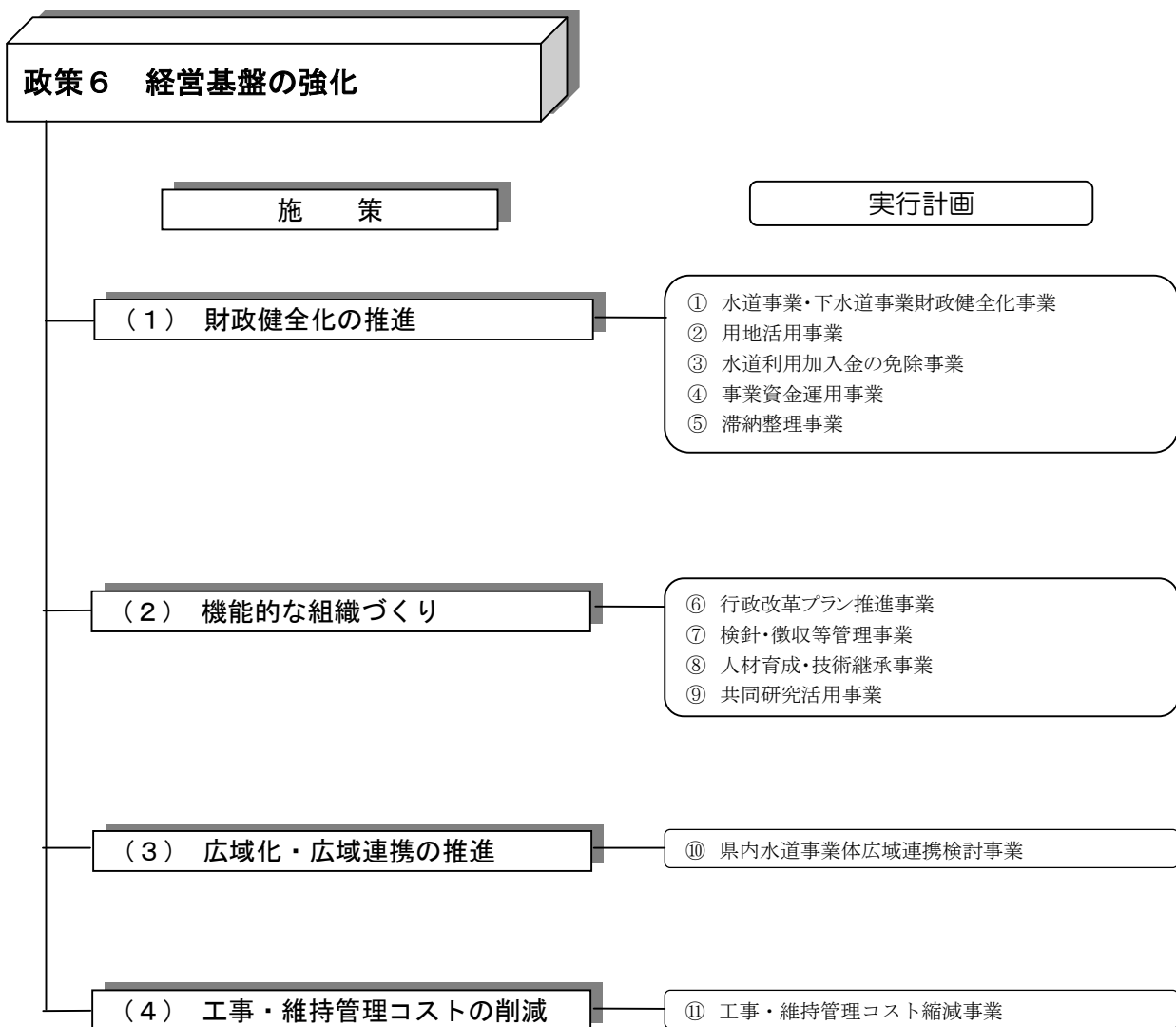
(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
1	広報事業 (総務課)	<p>お客さまとの信頼関係強化のため、様々な媒体を通じて情報提供します。 また、お客さまとのコミュニケーションを充実させた広報を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前授業の実施</li> <li>・インターネットモニターの実施</li> <li>・パンフレットの発行</li> <li>・水のポスターの募集</li> <li>・上下水道局ホームページデザイン変更</li> </ul>					<p>* 出前授業 実施済校へアンケートを実施し、「良い」の割合80%以上</p>	11,625
施策	5- (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
2	水道・下水道 イメージアップ事業 (総務課)	<p>お客さまとの接点がある場面で職員がPRを行い、水道・下水道へのイメージの向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「桜の散策 走水水源地」の開催</li> <li>・地域イベント等への出展</li> <li>・施設見学会の開催</li> <li>・工事現場見学会の実施</li> <li>・夏休み水道教室の実施</li> </ul>					<p>* お客さまにイメージに関するアンケートを実施し、「良い」の割合80%以上</p>	14,624
施策	5- (3)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
3	指定工事事業者管理 事業 (給排水課)	<p>指定給水装置工事事業者制度、指定下水道工事店制度及び給排水工事の位置付けについて、事業者への指導及びお客さまに「知っていただきたい情報」として広報を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページへの掲載</li> <li>・市広報紙への掲載</li> <li>・建築事業者団体等への情報提供</li> </ul>					<p>* お客さまの求める情報の発信</p> <p>* 工事申込(供給規定)の趣旨説明</p>	0
施策	5- (3)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

## 6 経営基盤の強化

経営基盤を強化するために、水道料金及び下水道使用料の適正化と同時に新しい収入源について検討を進め、収入の確保を目指します。また、機能的な組織づくり、広域化・広域連携、一体的な施設整備を進めることにより、経営の効率化を進めると同時に、職員の技術力の向上を図り、安定した事業運営体制を整えます。

## ◇施策の体系



## ◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
1	水道事業・下水道事業 事業財政健全化事業  (経営料金課) (経理課)	<p>「いつでも安心して使える止まらない水道・下水道」を目指し、施設の長寿命化や効率化により、維持管理・更新に係る経費を平準化・低減します。</p> <p>また、事業運営についてはマスタープランの次期計画を策定するとともに、水道料金・下水道使用料体系の見直しや、民間的経営手法の導入等により経営基盤の強化を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業の見直し等による事業資金の確保</li> <li>・一般会計から下水道事業会計への繰入金の見直し及び検討</li> <li>・水道料金及び下水道使用料体系の見直しの検討</li> <li>・次期マスタープランの検討及び策定</li> </ul>					* 第3期実行計画収支見通しを上回る事業資金の確保	2,340
施策	6- (1)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
2	用地活用事業  (用地管理課)	<p>水道用地・下水道用地の使用許可及び使用料の賦課、徴収を行い、収入の確保を図ります。</p> <p>また、利用計画のない水道用地や用途に供さなくなった公共下水道敷（水路）等を売却することで収入を確保します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道用地の貸付</li> <li>・下水道用地（水路）の貸付</li> <li>・管路用地等の売却</li> <li>・市内水路敷等の売却</li> </ul>					<p>* 水道用地の貸付件数 平成30年度 641件 平成31年度 以降 年633件</p> <p>* 下水道用地の貸付件数 年848件</p> <p>* 水道用地 売却予定額 95,349 千円</p> <p>* 下水道用地 売却予定額 2,174 千円</p>	▲882,778
施策	6- (1)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

## ◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
3	水道利用加入金の免除事業 (給排水課)	企業立地等を促進し、水道料金収入を確保するため、水道利用加入金を免除します。  ・企業等立地促進事業 ・中心市街地活性化事業					* 企業等の新規立地による水道料金収入の増	0
施策	6- (1)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
4	事業資金運用事業 (経理課)	大口定期預金、譲渡性預金等により、事業資金を運用します。  ・大口定期預金、譲渡性預金等による事業資金の運用					* 水道事業利息 年515千円  * 下水道事業利息 年26千円	▲2,164
施策	6- (1)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
5	滞納整理事業 (経営料金課)	水道料金・下水道使用料の収納率を維持し、安定した収入の確保に努めます。  ・督促及び催告の実施 ・停水の実施 ・債権の適正管理					* 検針後1年経過分の収納率 水道料金 99.9%以上 下水道使用料 99.9%以上	0
施策	6- (1)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

6 経営基盤の強化

◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
6	行政改革プラン推進事業 (経営料金課)	平成30年度(2018年度)から実施する行政改革プランに位置付けた事業の着実な実施に向けて、進捗管理を行うとともに、新たな取り組みを検討します。  行政改革プラン ・共通事業 3件 ・水道事業 1件 ・下水道事業 2件 合計 6件					* 効果額 水道事業 115,463千円 下水道事業 73,540千円	0
施策	6-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
7	検針・徴収等管理事業 (経営料金課)	目標に基づき、水道料金等徴収業務が適切に遂行されるよう管理します。  ・委託業務の管理指標の設定 ・複数の重要管理指標が未達成の場合は、受託者への改善指導の実施					* 検針後1年経過分の収納率 水道料金 99.9%以上 下水道使用料 99.9%以上	1,676,607
施策	6-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
8	人材育成・技術継承事業 (総務課)	水道事業・下水道事業を持続していく上で、必要な業務を担う職員として水道・下水道の各部門において、事業の運営に必要な知識・技術と専門性を兼ね備えた職員(スペシャリスト)の育成を中心とし、人材育成を進めていきます。  ・研修計画に基づく研修の実施 ・OJT*及び職場集合研修の推進 ・専門研修の推進 ・資格及び免許取得研修の推進  ※ 人材育成の手法の一つ。職場内研修(On-the-Job Trainingの略)					* 1人当たり局主催研修受講時間 年6時間	21,732
施策	6-(2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		

## ◇実行計画事業

(単位 千円)

事業名		事業内容					事業目標	事業費
9	共同研究活用事業 (計画課)	<p>共同研究による新技術の活用を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な新技術導入に向けた共同研究の検討及び実施</li> </ul>					* 共同研究制度の活用	0
施策	6- (2)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
10	県内水道事業体広域 連携検討事業 (経営料金課) (計画課)	<p>平成22年(2010年)8月の「神奈川県内水道事業検討委員会」報告を受け、県内他水道事業体と具体的な調整を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内水道施設の共通化・広域化を行い、施設の統廃合によるダウンサイジング及びバックアップ機能の向上等を図るための検討</li> </ul>					* 県内水道施設の共通化 ・広域化に向けた方向性の検討	0
施策	6- (3)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		
11	工事・維持管理 コスト縮減事業 (計画課)	<p>水道事業・下水道事業における工事や委託、維持管理のコストの縮減に向けて、コスト意識を持って取組む組織風土を醸成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共事業コスト構造改善プログラム検討委員会及び作業部会の開催</li> <li>コスト構造改善の調査、検討及び情報共有</li> </ul>					* コスト縮減の検討及び情報共有	0
施策	6- (4)	事業年度	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)		





# 第4章

## 財政収支見通し

# 1 水道事業

区 分		年 度	23年度 (2011年度)	24年度 (2012年度)	25年度 (2013年度)	26年度 (2014年度)
			決算	決算	決算	決算
収 益 的 収 支	収益的収入		11,118	10,978	10,911	12,829
	給水収益		10,243	10,104	9,880	9,832
	長期前受金戻入		—	—	—	1,535
	その他		875	874	1,031	1,462
	収益的支出		10,628	10,371	10,186	12,536
	人件費		1,612	1,586	1,542	2,783
	受水費		1,740	1,714	1,665	1,737
	減価償却費等		3,738	3,660	3,655	3,553
	支払利息		605	563	517	469
	維持管理費ほか		2,933	2,847	2,808	3,994
	収益的収支過不足額		490	607	725	293
	当年度純損益		388	488	593	120
資 本 的 収 支	資本的収入		1,283	1,548	450	963
	企業債		1,060	700	200	770
	その他		223	848	250	193
	資本的支出		4,330	4,553	4,632	4,196
	建設改良費		2,258	2,788	3,087	2,702
	企業債償還金		1,946	1,646	1,433	1,382
	出資金		125	119	112	111
	資本的収支過不足額		△ 3,047	△ 3,005	△ 4,182	△ 3,233
補てん財源			3,734	3,656	3,675	4,338
当年度資金過不足額			1,178	1,258	218	1,398
資金残額			4,725	5,982	6,201	7,599
(半原水源系統施設撤去等積立金(予定)を除く)*			—	—	—	—
企業債残高			22,220	21,274	20,041	19,428

※ 平成27年(2015年)に廃止した半原水源系統施設の撤去等にかかる資金の負担の平準化を

注1 端数処理のため、合計が表示と合わない場合があります。

注2 金額は税込みです。

注3 平成29年度(2017年度)予算は平成28年度(2016年度)からの繰越予算を含みます。

(単位 百万円)

27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
決算	決算	補正予算	予算	計画	計画	計画
11,429	11,137	10,930	10,821	10,583	10,392	10,212
9,827	9,720	9,472	9,393	9,312	9,162	9,035
772	686	755	621	555	536	524
829	732	703	808	716	694	654
10,311	9,285	10,044	9,473	9,524	9,389	9,469
1,283	1,358	1,430	1,342	1,323	1,278	1,279
1,755	1,730	1,735	1,684	1,688	1,676	1,676
3,464	3,176	3,364	3,120	3,296	3,302	3,303
421	357	313	248	223	194	167
3,388	2,664	3,202	3,079	2,993	2,939	3,045
1,117	1,852	886	1,348	1,059	1,003	743
934	1,596	538	1,003	726	696	356
1,334	1,669	2,067	1,464	1,046	1,020	1,117
1,080	1,500	1,850	1,300	900	900	1,000
254	169	217	164	146	120	117
4,331	5,232	8,493	6,341	5,972	5,524	6,662
2,853	3,739	7,104	5,000	4,781	4,415	5,500
1,387	1,422	1,335	1,306	1,172	1,109	1,162
92	72	54	35	19	0	0
△ 2,997	△ 3,564	△ 6,425	△ 4,877	△ 4,926	△ 4,504	△ 5,545
3,105	2,404	2,637	2,541	2,814	2,803	2,804
1,224	693	△ 2,902	△ 988	△ 1,053	△ 698	△ 1,998
8,823	9,516	6,614	5,626	4,573	3,875	1,877
—	—	—	3,463	2,450	1,797	51
19,121	19,200	19,715	19,709	19,438	19,229	19,067

図るため、平成29年度（2017年度）末資金残額の一部（約22億円）を積み立てる予定です。

## 2 下水道事業

区 分		年 度		23年度	24年度	25年度	26年度
				(2011年度)	(2012年度)	(2013年度)	(2014年度)
			決算	決算	決算	決算	決算
収 益 的 収 支	収益的収入		10,701	10,656	10,522	16,757	
	下水道使用料		6,737	6,718	6,616	7,090	
	他会計負担金・補助金		3,853	3,737	3,664	4,362	
	長期前受金戻入		—	—	—	4,933	
	その他		111	201	242	372	
	収益的支出		10,305	10,278	10,049	15,756	
	人件費		885	880	866	991	
	減価償却費等		3,748	3,698	3,713	8,673	
	支払利息		2,487	2,349	2,188	2,023	
	維持管理費ほか		3,185	3,350	3,281	4,069	
収益的収支過不足額		396	378	473	1,001		
当年度純損益		322	288	352	822		
資 本 的 収 支	資本的収入		7,509	6,554	7,404	6,963	
	企業債		4,612	4,017	4,401	4,795	
	国庫・県補助金		2,142	1,683	1,983	1,996	
	他会計負担金・補助金		627	773	959	147	
	その他		128	82	62	25	
	資本的支出		10,989	11,419	11,821	11,851	
	建設改良費		4,285	4,195	5,261	5,070	
	企業債償還金		6,480	6,500	6,336	6,585	
	他会計借入金償還金		225	725	225	196	
	資本的収支過不足額		△ 3,480	△ 4,865	△ 4,417	△ 4,888	
補てん財源		3,731	3,700	3,719	4,018		
当年度資金過不足額		647	△ 787	△ 225	131		
資金残額		1,827	1,040	815	946		
企業債残高		99,107	96,624	94,690	92,899		

注1 端数処理のため、合計が表示と合わない場合があります。

注2 金額は税込みです。

注3 平成29年度（2017年度）予算は平成28年度（2016年度）からの繰越予算を含みます。

(単位 百万円)

27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)	32年度 (2020年度)	33年度 (2021年度)
決算	決算	補正予算	予算	計画	計画	計画
16,998	16,834	15,943	15,429	15,458	15,781	15,325
7,748	7,710	7,499	7,466	7,435	7,403	7,371
4,134	3,991	2,838	2,489	2,493	2,411	2,399
4,934	4,967	5,485	5,352	5,387	5,856	5,446
182	166	121	123	142	111	108
15,289	15,044	15,334	14,799	14,681	15,375	14,584
709	798	831	833	867	851	834
8,718	8,778	8,787	8,554	8,549	8,636	8,619
1,846	1,631	1,424	1,212	1,089	947	817
4,017	3,837	4,292	4,200	4,176	4,941	4,314
1,710	1,790	609	630	777	405	741
1,567	1,651	423	448	646	291	648
5,963	5,746	10,580	9,372	9,436	9,129	8,582
4,241	4,033	6,789	5,950	5,298	5,230	4,751
1,602	1,624	2,744	2,242	2,897	2,580	2,392
96	76	1,037	1,172	1,236	1,313	1,431
24	13	10	8	6	6	8
10,828	10,820	14,948	13,547	13,546	13,261	12,842
3,862	3,793	6,721	5,381	5,945	5,495	5,158
6,791	6,993	8,227	8,166	7,601	7,766	7,684
174	34	0	0	0	0	0
△ 4,865	△ 5,074	△ 4,368	△ 4,174	△ 4,110	△ 4,132	△ 4,260
3,787	3,894	3,400	3,280	3,250	3,525	3,234
632	610	△ 359	△ 264	△ 83	△ 201	△ 286
1,578	2,189	1,830	1,565	1,482	1,281	995
90,349	87,388	85,950	83,734	81,431	78,895	75,961



# 索 引

## 課別事業索引

担当課名	政策	施策	事業名	ページ
総務課	5	(2)	1 広報事業	32
	5	(3)	2 水道・下水道イメージアップ事業	32
	6	(2)	8 人材育成・技術継承事業	36
経営料金課	6	(1)	1 水道事業・下水道事業財政健全化事業	34
	6	(1)	5 滞納整理事業	35
	6	(2)	6 行政改革プラン推進事業	36
	6	(2)	7 検針・徴収等管理事業	36
	6	(3)	10 県内水道事業体広域連携検討事業	37
経理課	6	(1)	1 水道事業・下水道事業財政健全化事業	34
	6	(1)	4 事業資金運用事業	35
用地管理課	1	(2)	8 半原水源系統施設撤去事業	16
	2	(2)	14 鷹取川利用計画検討事業	25
	6	(1)	2 用地活用事業	34
計画課	1	(2)	4 水道計画調整事業	14
	1	(2)	8 半原水源系統施設撤去事業	16
	2	(2)	9 下水道計画調整事業	24
	3	(1)	1 環境施策管理事業	27
	4	(3)	3 災害対策推進事業	29
	6	(2)	9 共同研究活用事業	37
	6	(3)	10 県内水道事業体広域連携検討事業	37
	6	(4)	11 工事・維持管理コスト縮減事業	37
給排水課	1	(1)	3 直結給水推進事業	13
	1	(2)	7 鉛給水管解消事業	15
	2	(1)	1 水洗化促進事業	21
	5	(3)	3 指定工事事業者管理事業	32
	6	(1)	3 水道利用加入金の免除事業	35
水道管路課	1	(2)	5 水道管耐震化事業	14
	1	(2)	7 鉛給水管解消事業	15
	1	(2)	15 配水管等維持管理事業	18
水道施設課	1	(2)	5 水道管耐震化事業	14
	1	(2)	6 配水施設整備事業	15
	1	(2)	8 半原水源系統施設撤去事業	16
	1	(2)	15 配水管等維持管理事業	18
	1	(2)	16 配水施設維持管理事業	19



担当課名	政策	施策	事業名	ページ
浄水課	1	(1)	1 水質管理強化事業	13
	1	(1)	2 残留塩素濃度低減化事業	13
	1	(2)	8 半原水源系統施設撤去事業	16
	1	(2)	9 水源系統別水運用管理事業	16
	1	(2)	10 走水水源系統運用事業	16
	1	(2)	11 有馬水源系統施設整備事業	17
	1	(2)	12 有馬水源系統施設維持管理事業	17
	1	(2)	13 小雀水源系統基幹施設整備事業	17
	1	(2)	14 水運用・有馬浄水場運転管理事業	18
	1	(2)	17 配水施設電機計装設備更新事業	19
	1	(2)	18 配水施設電機計装設備維持管理事業	19
	4	(3)	4 水道施設災害対策整備事業	30
下水道管渠課	2	(2)	3 下水道管耐震化事業	21
	2	(2)	4 下水道管維持管理事業	22
	2	(2)	5 路面下空洞化対策事業	22
	2	(2)	6 不明水対策事業	22
	2	(2)	10 下水道施設再構築事業	24
	4	(2)	2 浸水対策事業	29
下水道施設課	2	(2)	10 下水道施設再構築事業	24
	2	(2)	11 ポンプ場施設改築・更新事業	25
	2	(2)	12 終末処理場施設改築・更新事業	25
	2	(2)	13 汚泥焼却炉更新事業	25
	4	(1)	1 下水道施設耐震化事業	29
	4	(3)	5 下水道災害用資機材整備事業	30
水再生課	2	(1)	2 終末処理場水質管理事業	21
	2	(2)	7 ポンプ場維持管理事業	23
	2	(2)	8 終末処理場維持管理事業	23
	3	(2)	2 下水処理水再利用事業	27
	4	(3)	5 下水道災害用資機材整備事業	30